

# そうけいしんぞう だんしんぞう 木造僧形神像・木造男神像

市指定有形文化財

婦中町鵜坂 212  
鵜坂神社所有

鵜坂神社は、平安時代の書物「延喜式」に記載された「式内社」であり、朝廷公認の由緒ある神社とされています。

この神社には木造の2体の御神体が安置されています。

1体は「木造僧形神像」で、1本の杉でつくった高さ29.5cmの合掌した尼僧の姿です。平安時代末期に作られたと考えられています。

もう1体は、「木造男神像」で、檜材でつくられており、高さ50.5cmの彫刻です。烏帽子をかぶり笏を持った束帯であり、どっしりと座った姿をしています。この像は、鎌倉時代初期の作品といわれています。



木造僧形神像

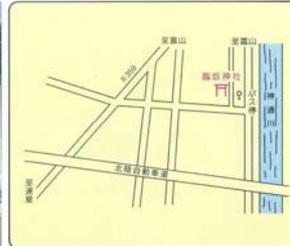


木造男神像

鵜坂神社は、歴代の天皇に厚く敬われていました。平安時代、白河天皇や堀河天皇が病気の際に鵜坂神社におはらいをさせたという史実や、勅使が遣わされたという記録などがあります。



鵜坂神社



堤防廻り八尾行き鵜坂下車(地鉄バス)徒歩3分